

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供		施策No	04-08		部課名	教育委員会事務局教育総務課		課長名	山本	内線	3310
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、指導室											
行政評価 事業体系	分野	Ⅱ		子育て教育都市								
	政策	04		心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成								
目的	土・日曜日、長期休業期間等に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。											
指	幸福実感指標名 (5段階評価)		指標の推移			指標に関する質問文						
			25年度	26年度	27年度							
	①	子育て・教育環境の充実		3.29	3.46	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？					
	②											
	③											
標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明				
			25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)					
	①	校庭利用年間延べ人数		24,726	22,079	22,886	26,000	26,000	実施回数×実施一回あたりの利用人数			
	②	小学校科学教育センター申込者数		40	47	39	34	40	目標値は理科実験室の定員			
	③	中学校科学教育センター申込者数		20	13	36	37	40	目標値は理科実験室の定員			
	④											
	⑤											
現状と課題 (指標分析)	<p>○校庭や教育センター等の既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供しており、今後も引き続き実施していく必要がある。</p> <p>○校庭利用事業は、児童生徒の安全確保と場所の提供のため、保護者などの協力を得て事業運営しているが、区民参加を一層進めていく必要がある。</p>											
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>引き続き、区内における既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域や保護者の協力を得ながら、運営方法や事業内容の検討をしていく必要がある。</p>											

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、運動・遊びの場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与する施策である。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
校庭利用運営費	12-01-16	3,747	3,849	推進	推進	児童に安心して安全な遊び場を提供している。
科学教育事業運営	12-04-35	938	1,125	継続	推進	理科・科学の基礎能力や応用力の増進につながる多様な科学教育の実施は必要であり、土曜授業の実施状況等を踏まえた事業の実施方法等を検討しながら、継続していく。
合 計		4,685	4,974			